



FSSI  
Research Report

Kanazawa University

2022. 6

---

# Topic



## 研究力分析プロジェクトのご紹介

本号では、当レポートの編集者が所属する先端科学・社会共創推進機構（通称 FSSI）が行っている研究力分析プロジェクトについてご紹介します。

### 先端科学・社会共創推進機構とは、

先端科学・社会共創推進機構（FSSI）は、角間キャンパスの本部棟4階にあります。約30名のスタッフが所属しています（写真1）。本機構は5つのグループで構成されています（社会共創推進グループ、法務・知的財産戦略グループ、総務・広報グループ、人材育成グループ、学術研究推進グループ）。業務は、主に本学の研究支援活動を行っています。

当機構に所属する多くのものは URA（University Research Administrator、以下のサイト参照）の肩書も兼ねています。

URA とは、

<https://o-fsi.w3.kanazawa-u.ac.jp/about/ura/>



写真1. 本部棟と先端科学・社会共創推進機構（通称 FSSI）のオフィス  
学外活動が多いため普段から人は少なめです。

### FSSI の支援内容について

FSSI では研究支援活動として、研究プロジェクトの立案、研究資金獲得、研究成果発信、知的財産管理、産学官連携および地域連携の推進、大学の有する人的・物的資源を活かした学内外のネットワークの基盤形成等の様々な活動を行っています。

皆様の身近なところでは、科研費申請書のブラッシュアップ支援や、各種の研究予算の説明会の実施、研究支援イベントの企画（図1）、共同研究相談、職務発明等の知財相談があります。その他にも、省庁主体の大型の研究予算の申請支援や、大学全体として申請を行う機関申請の支援を行っています。

今後さらに当機構の活動内容を広く知ってもらうために、FSSI がおこなっている支援内容や、どんなスタッフが支援を行っているのかを紹介するサイトを現在作成中です（本年の秋ごろに公開予定）。公開が始まりましたら、改めてこのレポートにてご紹介いたします。

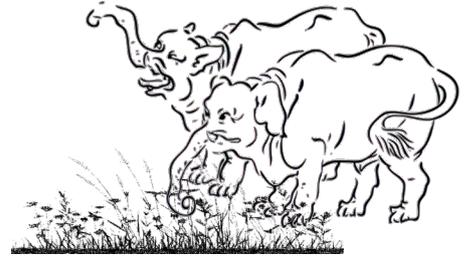
FSSI のスタッフ一覧

<https://o-fsi.w3.kanazawa-u.ac.jp/about/staff/>



所属スタッフの一例

# Topic



## 研究力分析プロジェクトについて

当機構では、本学の研究力を向上させるための一環として研究情報の分析を行っています。その一例として、これまでの本レポートを以下にご紹介します。

**R4年度 FSSI 研究者支援セミナー Vol.1**  
**研究の「伝えたい」を「伝える」!**  
～ビジュアルデザインのエッセンス～

スペースや時間の限られた申請書・プレゼンの中で「伝えたい」を「伝える」に変えるには? 講師の先生方にその秘訣を伺います!

**オンライン開催**

<b>日</b> 5月23日(月)	<b>日</b> 5月30日(月)
<b>時</b> 15:00 - 17:00	<b>時</b> 15:00 - 17:00

**伝えきる! 申請書デザインのメソッド**      **心を掴む! プレゼンの秘訣**

プレゼン資料 Before & After  
添削希望者募集中 (詳しくは案内メールで)      募集は終了しました

**講師**

 <b>田中 佐代子 先生</b> 筑波大学 芸術系教授	 <b>三輪 佳宏 先生</b> 理化学研究所 バイオリソース 研究センター 室長
--	---

**主催** 先端科学・社会共創推進機構 (FSSI)      **申込** <https://forms.gle/KqUwR23rT5SH198>  
上のフォームまたは下のQRコードより

**共催** ナノ精密医学・理工学 卓越大学院プログラム      **申込締切** 5月22日(日) 17:00  
grant@adm.kanazawa-u.ac.jp  
**問合せ先** 先端科学・社会共創推進機構 (三島)

図1. 研究支援イベント企画の一例

【大好評につき動画配信期間延長中!!】

研究支援セミナーvol.1「研究の「伝えたい」を「伝える」! ～ビジュアルデザインのエッセンス～」(R4年5月23・30日開催)

([アカンサスポータル](#)>LMS コース

(WebClass) >[General] RENCOM・研究者支援セミナー関連)

特に、第2部の三輪先生の申請書に関する動画は、科研費申請書の作成に、大変役立つ内容となっています。

発行年月	Topic
<a href="#">2021.4月号 (PDF)</a>	「2020 年度 創発的研究支援事業の採択傾向」
<a href="#">2021.5月号 (PDF)</a>	「2021 年度 科研費の採択傾向」
<a href="#">2021.6月号 (PDF)</a>	「インパクトファクター (IF)、Top10%論文の調べ方と本学の傾向」
<a href="#">2021.7月号 (PDF)</a>	「金沢大学の科研費申請支援について」
<a href="#">2021.8月号 (PDF)</a>	「Scopus による研究者情報の調べ方」
<a href="#">2021.9月号 (PDF)</a>	「科研費の採択傾向 その2」 ～ 職名(教授・准教授・講師・助教)で採択率は異なるのか? ～
<a href="#">2021.10月号 (PDF)</a>	「金沢大学の世界および国内大学ランキング (THE)」
<a href="#">2021.11月号 (PDF)</a>	「若手研究者の挑戦求む: 学術革新領域 (A) の公募研究」
<a href="#">2021.12月号 (PDF)</a>	「2021 年度 創発的研究支援事業の採択傾向」
<a href="#">2022.1月号 (PDF)</a>	「本学の共同研究の傾向のご紹介」
<a href="#">2022.2月号 (PDF)</a>	「(速報) 2022 年度 科研費の採択結果」
<a href="#">2022.3月号 (PDF)</a>	「2022 年度 科研費の採択傾向」 ～採否を分ける要素は何か?～
<a href="#">2022.4月号 (PDF)</a>	「世界大学ランキング」 ～金沢大学の順位を向上させるためには～
<a href="#">2022.5月号 (PDF)</a>	「日本版・大学ランキング」 ～世界大学ランキングとの違い～

その他にも、研究力プロジェクト (FSSI-IR) のサイト (以下を参照) にて研究力分析ツールをご紹介します (図2)。個別での分析 (Top10%論文調査等) にも対応しております。

FSSI-IR のサイト

<https://kanazawa-fssi.com/>

# Topic



## 今後について

当機構では学内のデータを集約し、スタッフが利用しやすい形にするとともに、学内の皆様に向けての公開用のシステムを現在準備しております。試行的に一部の機能(図2)を公開(登録制)しておりますのでご希望される方はご連絡をお願いします。

<https://kanazawa-fssi.com/ir-analysis/>

## 編集者コメント

科学研究費助成事業や外部研究事業等についての情報を分析し、研究者の皆様幅広く発信するために、「FSSI Research Report」を毎月発行しています。レポートに記載の分析結果詳細やアーカイブを[ホームページ](#)に掲載していますので、ぜひご覧ください。

ご紹介した研究分析プロジェクトでは、この他にも大学ランキングへの対応や、図2にある研究業績検索

ツールの提供、個別のご相談対応を行っています。また、本学の皆様が使いやすいように新たな研究者検索システムを現在構築中です。こちらも FSSI の紹介サイトとあわせて、今年度中にはご提供が開始できるかと思えます。

その他、FSSI では共同研究を始め、様々な支援を行っていますので、困りごとがありましたら当機構までご相談ください(池田)。

分析結果やレポートのアーカイブ

<https://kanazawa-fssi.com/fssi-report/>

### 【お問い合わせ】

金沢大学先端科学・社会共創推進機構 (FSSI)

✉ : kanazawa-fssi-ir@kanazawa-fssi.com

今年もオニグルミ(鬼胡桃)が豊作です。角間には胡桃の他にも、桑や(うな重でおなじみの)山椒、アケビ等々の様々な木の実が自生しています。里山ならではの味わいです。敷地内を歩くだけでも、新鮮な食材を簡単に手に入れることができます。

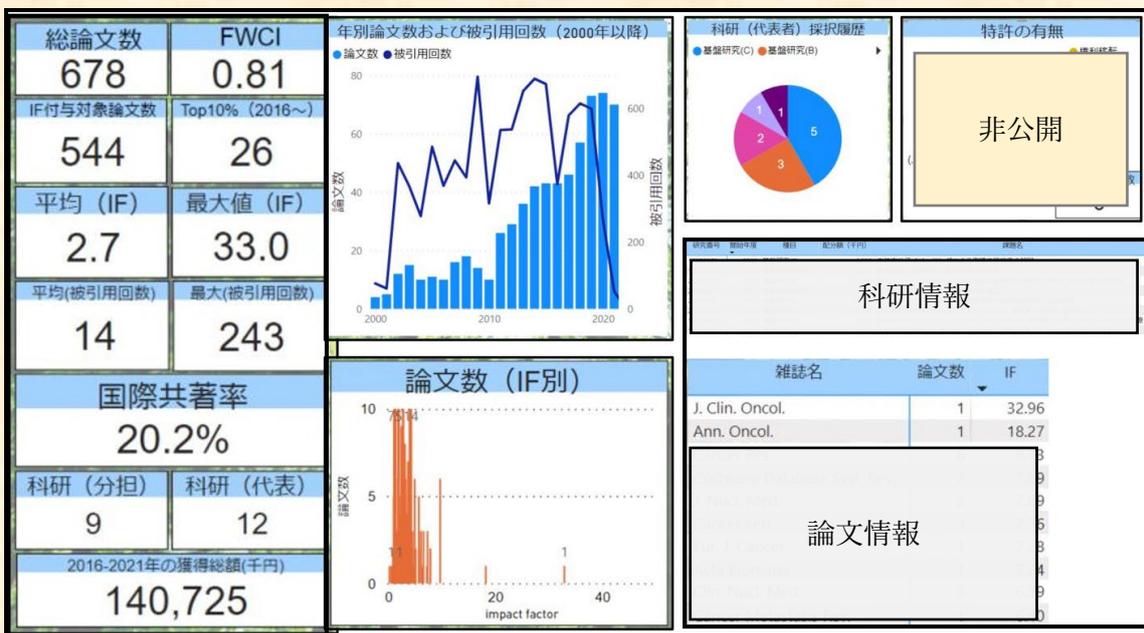
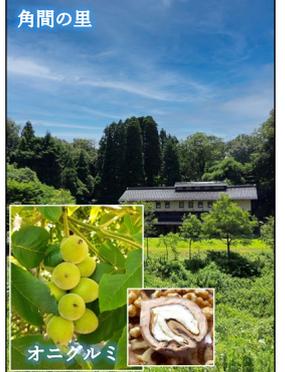


図2. 研究力分析ツールを利用した研究者(架空)の研究業績検索結果のデモ画面